

第22回全国消防操法大会開催!

～小型ポンプの部 岐阜県代表 揖斐川町消防団 揖斐分団が～

11月12日(金)、愛知県蒲郡市の蒲郡ポートレース場駐車場で、第22回全国消防操法大会が開催され、8月に開催された岐阜県消防操法大会で優勝した揖斐川町消防団揖斐分団が岐阜県代表として小型ポンプの部に出場しました。

大会には、全国から各県の大会で選ばれた46隊216人が出場し、どの隊も訓練の成果を存分に発揮したレベルの高い大会になりました。
また、揖斐分団の小森健司さん(小野)が小型ポンプの部 優秀選手の栄冠に輝きました。
大会結果は次のとおりです。

◎優秀選手(ポンプ車の部)

- 指揮者 高倉 忠(北海道)
1番員 高木 茂之(秋田県)
2番員 森田 祐基(鳥取県)
3番員 北村 勇介(鳥取県)
4番員 篠村 友紀(鳥取県)

◎優秀選手(小型ポンプの部)

- 指揮者 石野 将造(岡山県)
1番員 小森 健司(岐阜県)
2番員 水田 政晴(兵庫県)
3番員 有吉 博之(岡山県)
(敬称略)

- ◎ポンプ車の部
優勝 鳥取県 江府町消防団
準優勝 長崎県 壱岐市消防団
高知県 いの町消防団
茨城県 常総市消防団
- ◎小型ポンプの部
優勝 兵庫県 福崎町消防団
準優勝 岡山県 和気町消防団
広島県 福山市消防団
新潟県 新潟市消防団



▲レベルの高い操法が展開されました



▲優秀選手表彰を受けた小森さん(写真中央)



▲多くの方の支えがあり、団結力が力を育みました。

第4回揖斐川町消防訓練会開催

～規律動作を競い合う～

10月31日(日)、第4回揖斐川町消防訓練会が、市場グラウンドで開催されました。大会の結果は次のとおりです。

◎総合

- 優勝 大和分団
準優勝 小島分団
3位 本部

◎小隊訓練の部

- 優勝 小島分団
準優勝 大和分団
3位 本部

◎各個訓練の部

- 優勝 大和分団第2班
準優勝 大和分団第1班
3位 大深分団第2班
4位 揖斐分団第1班
5位 脛永分団第2班
6位 清水分団第1班
7位 徳積分団第2班
8位 揖斐分団第3班
9位 小島分団第1班
10位 北方分団第1班

◎団長賞(敬称略)

- 最優秀指揮者賞 本部

- 優秀指揮者賞 窪田 匡市
坂上分団第2班 寺田 啓起

- 優秀指揮者賞 清水分団第1班 高見 明

- 優秀指揮者賞 揖斐分団第3班 千種 孝裕



揖斐川ライオンズクラブ
清掃奉仕活動

10月6日(水)、揖斐川ライオンズクラブのメンバーおよそ30人が、養老鉄道揖斐駅周辺で、ゴミ拾いや除草作業の奉仕活動を行いました。

揖斐川ライオンズクラブは、毎年2回、駅周辺や河川敷などの清掃奉仕活動を行い、環境保全や地域の美化に取り組み、地域づくりに貢献されています。

揖斐川ライオンズクラブの林豊はやしゆたか会長は、「駅周辺を美しく保ち、多くの皆さんに駅や鉄道を利用していただきたい。これからも継続して奉仕活動を行い、地域に貢献していきたいです。」と話されました。奉仕活動ありがとうございました。



▲清掃奉仕活動の様子(養老鉄道揖斐駅前)

揖斐川町大特産市開催
名古屋で「いび」をPR

10月7日(木)、名古屋市の金山総合駅で「揖斐川町大特産市」が行われました。

この日は、町内の農業団体など12グループが出店し、揖斐川町の名産品約120品目を販売しました。

会場は、約2000人の来場者で賑わい、ピーマンや大根、サトイモなどの農産物は特に人気が高く、早々と売り切れになりました。

また、揖斐川町の観光をPRするコーナーも設けられ、総貯水容量日本一の徳山ダムなどを紹介し、特産品とともに、自然が満喫できる揖斐川町を名古屋の皆さんに知っていただくことができました。



▲大勢のお客さんと賑わいました

いび森林資源活用センター
オープニングフェスタ開催

10月8日(金)～10日(日)の3日間、いび森林資源活用センター(西津汲)でオープニングフェスタが行われ、約600人の来場者で賑わいました。

いび森林資源活用センターは、森林の手入れと管理を行いながら、工場では、間伐材をチップやペレットなどに加工しバイオマス燃料を作っています。

会場では、郷土芸能の上演や、林業機械の実演などが行われました。また、サバの水煮を使った地獄うどんが振る舞われ、大変好評でした。プラントーカーバーや置物を作る木工教室も人気で、多くの親子が参加しました。



▲かわいい置物ができあがりしました

坂内広瀬の秋まつり
農作物の収穫に感謝

10月10日(日)、坂内広瀬地区ひろせで秋まつりが行われました。

広瀬の秋まつりは、農作物の収穫に感謝する行事として、古くから親しまれています。

広瀬神社では、多くの観衆が見守る中、広瀬地区に伝わる太鼓踊りが披露されました。

坂内地域の皆さんが、力を合わせて古くから伝わる広瀬の太鼓踊りが受け継がれています。



▲広瀬神社での奉納踊り

岐阜県重要無形民俗文化財
春日の太鼓踊り

10月9日(土)は春日^{かみがれ}上ヶ流地区、10日(日)には春日下ヶ流地区、10月23日(土)と24日(日)には春日種本中瀬地区で太鼓踊りが披露されました。

春日の太鼓踊りは、豊年祈願や感謝の踊りとして古くから人々に親しまれ、岐阜県重要無形民俗文化財に指定されています。

鮮やかな衣装を身にまとった踊り手が太鼓を付け鉦や笛の音色に合わせて踊る姿はとても華麗です。

春日の太鼓踊りは鎌倉踊りとも呼ばれており、唄には、鎌倉殿やお姫様などのことも唄われ、鎌倉時代から始まったと伝えられています。

上ヶ流、下ヶ流地区の踊りは、踊りの輪の中心に「サイ」と呼ばれる先端にきれいな布がついた棒状の物を持った踊り手があります。周りを囲む10人あまりの踊り手は、お囃子に合せ、胸に抱えた太鼓を打ち鳴らしながら、時にはゆっくりと時には激しく踊ります。それぞれ各地域の神社など、数か所でお昼から夜までかけて踊りが披露されました。



▲下ヶ流太鼓踊り



▲上ヶ流太鼓踊り



▲種本中瀬太鼓踊り

種本中瀬地区の太鼓踊りは、中心の踊り手が色鮮やかな「バンバラ」と呼ばれる背負いものを身につけ、周りを囲む10人あまりの踊り手とともに、種本六社神社や中郷熊野神社に踊りが奉納されました。

種本中瀬太鼓踊りは、他の地区に比べ、太鼓を打つ姿勢が腰を引いた低い構えであることが特徴です。春日の太鼓踊りは、地域ごとに特色があり、地域の皆さんが、心を合わせて伝統芸能を受け継ぐことで、地域のつながりがより強いものになっていくことでしょう。

アースデイ・いびがわ開催
〜環境を考える〜

10月11日(祝)、ラーニングアーバー横蔵(谷汲木曾屋)で、ごみの減量や地産地消を考える環境イベント「アースデイ・いびがわ」が開催されました。

このイベントは、西濃地域の環境NPOなどで組織する実行委員会が、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)に合わせて開催。揖斐郡産のハツシモや美濃いび茶、県産食材を使用した「お茶漬け選手権」では、10品のお茶漬けから人気投票で山うに豆腐茶漬けが1位に輝きました。

また、徳山ダムから名古屋市まで歩く「いまじんウォーク」も開催され、約2000人の来場者で賑わいました。



▲環境問題を考える良い機会になりました



▲ボールタッチの練習

10月14日(木)、大和小学校で、スポーツを楽しむ子どもを育てよう推進事業「FC岐阜スポーツ教室」が行われ、全校児童145人が参加しました。

教室は、低学年・中学年・高学年のクラス別で行われ、サッカーボールを使ったゲームやドリブルの練習などが行われました。

スポーツ教室終了後、FC岐阜のコーチングスタッフは、「スポーツを楽しんで好きになってほしい。そして、スポーツ以外のことも一生懸命頑張ってください。一人では何もできません。仲間を大切にして、常に協力することを忘れないでください。」と話されました。

FC岐阜スポーツ教室
 ～スポーツを楽しもう～



▲調印式の様子

10月15日(金)、福井県池田町で災害時における相互応援協定調印式が行われました。

揖斐川町に隣接する福井県池田町とは、国道417号で結ばれており、協定では、災害時に被災者救出や復旧に必要な機材や物資、職員の派遣などを相互に行うことを定めています。

宗宮町長は、「防災意識の高揚とともに、色々な形で交流を活発にしていきたい。」と話しました。

また、池田町の杉本町長は、「冠山峠道路を早期に開通させ、相互に協力して地域づくりにつなげたい。」と話されました。

災害相互応援協定調印式
 ～揖斐川町・福井県池田町～



▲講習会の様子

10月17日(日)、怪永グラウンドでグラウンドソフトボール競技の審判員・記録員・放送員養成講習会が行われました。

平成24年のぎふ清流大会(全国障害者スポーツ大会)で同競技が開催される揖斐川町では大会に向けて、いび川ソフトボール協会と県立岐阜盲学校の協力を得て、講習会が開催されました。

講習会には、約40人が参加し、午前中はソフトボールとのルールの違いなど競技の説明を受け、午後からは、グラウンドで実際の練習試合に参加し、プレーに対する判定を緊張した様子で行なっていました。

今後、審判技術の更なる向上を目指し、講習会を行なっていきます。

ぎふ清流大会に向けて
 ～グラウンドソフトボール講習会～



▲園児によるステージ発表

10月17日(日)、春日モリモリ村で、こいやーかすがまつりが開かれ、地域の皆さんなど、約3000人が来場しました。

このイベントは、文化交流や地域の活性化を目的に行われています。

会場では、特設ステージで地元の園児・児童・生徒・サークルなどによる発表が行われ、テントブースでは、地域の新鮮な野菜などの販売やバザーも人気で、商品を買いたい求めるお客で賑わっていました。

その他、ファミリーステージショーや歌謡ショー、春日の太鼓踊りなど、盛りだくさんの内容で、来場者は楽しい1日を過ごしました。

こいやーかすがまつり開催

木曾三川流域自治体フォーラム

10月18日(月)、名古屋学院大学(名古屋市中)、流域自治体フォーラムが開催されました。

このフォーラムは、名古屋市中で開催されていた生物多様性会議(COP10)を機に開催され、木曾三川流域にある3県29市町村が参加しました。

揖斐川上流域の自治体として参加した宗宮町長は、「木曾三川の流域に住む私たちは、自然環境や動植物の生態系を保全する意識を高めることが必要です。」と意見を述べました。

フォーラムの最後には、「水の環・人の和・生物の輪」と題し、「自治体間の連携に努め、多様な生物の生息環境を守る」とする宣言を発表しました。



▲大会宣言の様子

叙勲(瑞宝双光章)受章

8月18日(水)に亡くなられた田上^{たのぼる}さん(岡)が瑞宝双光章を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

窪田さんは、昭和19年9月から昭和60年3月まで、教員として勤められ、その間、岐阜県へき地複式分校会長や揖斐郡山村教育連盟会長などを歴任されるなど、40年あまりの長きにわたり教育の推進にご尽力されました。

これら生前の功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲叙勲の伝達が行われました

川と海のクリーン大作戦

〜美しい水辺環境を保つ〜

10月24日(日)、揖斐川河川敷を中心に、町内全域で川と海のクリーン大作戦が行われ、揖斐建設業協会、町内小中学校、各種団体、地域住民を合わせ940人の皆さんが参加されました。

この取り組みは、ごみを捨てない心を育んでもらおうと、国土交通省の提唱で行われており、各自治体や賛同する企業・団体などがゴミ拾いを行なう事業です。

この日集まったのは、ペットボトル、空き缶、粗大ごみなど、およそ1トンでしたが、昨年よりごみの量は減っていました。

今後も皆さんで美しい水辺環境を守っていきましょう。



▲揖斐川河川敷での活動の様子

さざれ石愛護の日

〜春日さざれ石公園〜

10月24日(日)、春日古屋笹又のさざれ石公園で、第32回日本さざれ石の会総会が開催されました。

この行事は、「さざれ石」の保護、保存を目的に10月27日を「さざれ石愛護の日」と定め、その日に近い日曜日に「日本さざれ石の会」の会員によって、毎年清掃活動等が行なわれています。

今年は、地元関係者や岐阜市などから約60人の皆さんが参加されました。小宮神区の皆さんによって作られた注連繩^{しめなわ}の交換奉納が行なわれた後、総会では春日のシンボル、宝としてこれからも「さざれ石」の愛護に努めることを誓い合いました。



▲注連縄交換と清掃活動の様子

セントジョージマラソン派遣団
体験報告が届きました。

9月29日(水)～10月6日(水)の間、セントジョージマラソン派遣団として、セントジョージマラソンに参加されたランナーの皆さんから、報告書が届きましたので紹介します。

◇派遣交流最大の魅力はホームステイです。話をする中で、家族みんなが自分のやりたいことを実践し、周りのみんなもそれを尊重している、そんな家族の絆を感じました。マラソンでは派遣団の皆さんや現地の皆さんから力を得て、無事ゴールまで走りきることができました。

(山本泰明さん)

◇今回は思うような調整ができなかったのですが、それでも不安はありませんでした。派遣団の皆さん、ホストファミリーの皆さんが力になって元気もあって、現地の雰囲気を楽しみながら走ることができました。

(中條恵さん)

◇徐々に明けてくるとともに朝陽が差してくると、眼前に雄大な自然が浮かび上がってきます。走っても走っても近づいてこないとても広い広さです。後半にさしかかると町が見えてきて、すごい応援が待っていました。つらい体に力が湧いてきます。そしてゴール。今回は自己ベストを更新できました。(阿樺弘さん)

◇スタートの時は寒いと聞いていましたが、日が昇ると同時にジリジリと照りつける太陽でとても暑かったです。地元のランナーの人が声をかけてくれたり、肩をポンと叩いてくれたり、その励ましに力を貰いまくりました。セントジョージの人たちの暖かさにとっても感動しました。

(成瀬純子さん)



▲ゴール風景(山本さん)



▲ホストファミリーの皆さんと

実のなる木の植樹活動

～野生動物と共生をめざして～

10月6日(水)に北和中学校の生徒、10月25日(月)に北方小学校の児童が、徳山ダム上流の通称「コア山」に実のなる木の植樹を行いました。

この活動は、木の実が野生動物の重要な食料であり、野生動物と共生するためにその餌となる木を育成することが大切であることや、森林と水野生動物の関わりを理解し、水源地域の生態系保全の必要性を学ぶことを目的としています。

今回は、野生動物との共生をめざして、ブナ、トチノキ、クリなどの実のなる木の小苗を小中学校の児童生徒が学校で育て、大きくなった苗木を植樹しました。



▲植樹活動の様子

走れエコパッカー車事業

～新デザインパッカー車完成～

町内の子どもたちが、環境保全を願って描いた絵画「走れエコパッカー車事業」(NPO法人いびがわみずみずエコステーション主催)の入選作品12点を縦1メートル、横1.2メートルに拡大したステッカーにして、パッカー車(ごみ収集車)に張り付ける作業が10月下旬～11月上旬に行われ、新デザインの6台のパッカー車が完成しました。

パッカー車は、町内でごみ収集を行う(有)揖斐川清掃のパッカー車で、今後、約2年間新デザインのパッカー車が活躍します。

なお、入選作品は12月17日(金)まで大垣共立銀行揖斐支店に展示されています。



▲ポスター張り付け作業の様子